
社会福祉法人武蔵野千川福祉会の取組み

“あるがままに、あたりまえに”

私たちは障害のある人の支援において大きく分けて2つ大切にしていることがあります。

それは、働く力の向上を目指すことと、大人としての育ちです。

ルールとマナーを守り、働くことと暮らすことに対して安心して取り組み、できることを増やし、それを継続できるようになってもらうことです。

また7つの就労支援・生活介護事業所を構えているため、個々の持っている力を活かした働きができ、ステップアップ異動ができる環境を用意しています。

私たちは利用者の自信と力を身につけていけるよう日々取り組んでいます。



社会福祉法人
武蔵野千川福祉会

企業概要

- 企業名

- 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会（東京都武蔵野市）

- 実施事業

- 共同生活援助、就労移行支援、就労継続支援

- 社員数

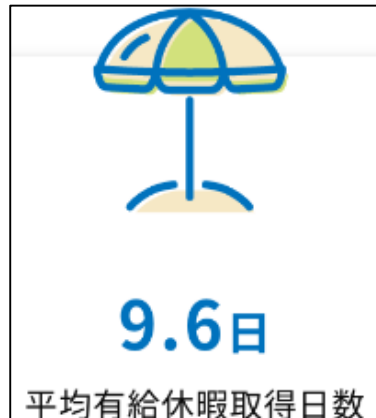
- 約80名（うち非常勤30名程度）



採用に向けた取組み

● 新卒採用により「長期的活躍人材」を育成

- ここ数年、中途採用が中心で新卒採用ができていない状況にあります
- その背景には、もともと離職者が少ないことで、年度途中の退職も数件であるため、中途採用で対応してきた経緯があります
- 今後は「長期的に活躍できる人材」を育成していくため、新卒採用を進めていく方針です



※2021年度集計結果



育成に向けた取り組み①

● 成長し合う職場風土

- 資格取得支援、定例研修、社内・社外での研究発表など、アウトプット（成果）にこだわった育成に取り組んでいます
- 研究発表では、職員毎に当年度取り組むテーマ（5S活動など）を設定し、その成果をプレゼンします
- 新任職員も先輩のサポート受けながらレジюмеを作成し、プレゼン準備に臨んでいます



研修内容

- 障害福祉の分野別研修
（就労支援、生活支援、児童支援）
- 職員の階層別研修
（初級職員、中級職員、管理職）

職員研修に力を入れており、その他派遣研修など、学ぶ機会を多く用意しています。



キャリアアップ制度内容

- キャリアパス制度

育成に向けた取組み②

● 他社の見学により刺激を受ける

- 年2回ほど、他社を見学する機会を設け、独自の取組やノウハウを勉強しています
- 見学先とはその後も継続的に交流を続け、職員同士も関係性を維持しています

武蔵野千川福祉会



見学・交流

他社



定着に向けた取組み①

● 意見を出しやすい職場風土

- 法人役員も職員を兼務しているため意思決定が早く、また日頃から意思決定の過程において現場の意見を積極的に引き上げています



定着に向けた取り組み②

● 自社の強み・目標を明確化・共有

- 当事業所は「工賃都内No.1」「月10万円」の明確な目標を共有しています
- 目標が明確なため、職員が同じベクトルで仕事に臨み、工夫や改善に関する議論が積極的に取り交わされます

● 業務はできるだけ定型化・省力化

- 記録関係はすべてICT化、情報共有もイントラネットで行っており、利用者の仕事と同様、職員の業務もできるだけ定型化・省力化することで、残業は発生しないようにしています

